

磯田道史の

ちよつと

家康み

第4話



2015年 徳川家康公 四百年 記念事業

家康公、

大敗を喫する

新年、おめでとうございます。今年の家康公の四百回忌。浜松市でも家康公顕彰四百年記念事業が元日からスタートします。私としては「家康公三十歳時のお顔復元」事業が楽しみです。家康公は若い時は目がパッチリした好男子でしたが、長生きして晩年のでっぷりした肖像画が出回ったため、狸親爺のイメージがついて損をしています。特殊メイクの専門家の協力を得て、浜松時代の颯爽とした青年家康の顔が復元されます。私も日本中から家康公の木像や肖像画の写真を懸命に集めて復元を支援しています。完成したあかつきには、ぜひご覧ください。

小学生を募り、浜松城の前身・引間城の発掘体験をしてもらおうという企画でした。私の提案に市文化財課が理解を示してくださいました。当時の土器の破片を手にしたときは、感動で心が躍りました。「子どもは浜松を愛する心を発掘したい」という目標は達成できたと思います。現場からは、凄まじい量の土器が出土しました。三方ヶ原の戦いでは、最低でも1万人がこの城から出陣しています。出陣式では、酒を飲み干し、器を一斉に地面に叩き付けて割ります。そのときの土器なのか。もつと昔の土器なのか。想像が膨らみました。

家康公は、この引間城から三方ヶ原に出陣し、負けて帰ってきました。家康公は、夕闇に紛れながら、一路、浜松城（正確には引間城の元目口）に逃げ帰ることを決断しました。この家康公の逃げ方が、実に面白いのです。「道々ひたものの唾吐きなされ候」

なんと、逃走中の混乱の中で、家康公は、側にいる護衛の家臣たちの刀に「べつべつ」と、次々に唾を吐きかけたというのです。これには意味がありました。なにしろ夕闇にまぎれての敗走の中です。誰が自分の側をはなれず盾になって忠実に護衛してついてきているのか、顔が見えませんでした。

それで家康公は、側にいるらしい家臣の刀に唾をはきかけ、マーキング（しるしつけ）をしたというのです。後で、家臣の刀をとりよせ、「お前の刀にはおれの唾がついている。ちゃんと、おれの馬脇について護衛していたな。よし恩賞をやるう」と恩賞を与える根拠にしました。「三河之物語」（「三河物語」ではない）という書物に書かれています。

寒い時期ですから、唾には痰が絡み、よい印になったのかもしれない。家康の肉体的凄味は、このように追い詰められたときの並外れた冷静さにあることを覚えておいてください。

【次号予告】

「家康公の敗走路」

非常勤職員の募集

人事課 ☎457・2081

おしらせ

職種	勤務地	定員	選考
保育園調理員	浜松市立保育園	5人程度	2月7日(土)
精神保健福祉士、臨床心理士または社会福祉士	青少年育成センター	1人程度	2月10日(火)
社会福祉士	障害者更生相談所	1人程度	
管理栄養士	東区健康づくり課	1人程度	
看護師	夜間救急室	1人程度	2月12日(木)
図書館司書	天竜図書館、春野図書館	2人程度	
ポルトガル語通訳・翻訳	国際課または各区役所	2人程度	

※いずれも任用は平成27年4月1日以降（任期は原則として1年間）
※資格要件がありますので、募集案内で確認してください。

申込

人事課で応募書類を受け、1月5日(月)から郵送または直接、人事課(〒430-8652 中区元城町103-2)へ[1月26日(月)消印有効]

※応募書類は郵送でも請求できます。非常勤職員選考案内希望(希望職種)と書いて、宛先を書いた返信用封筒(120円切手を貼った角形2号)を同封してください。また、市ホームページからもダウンロードできます。

市HP

職員採用情報

検索